

第2回 特別支援学級運営充実推進委員会

第1回特別支援学級運営充実推進委員会 における提案等の反映状況について

徳島県教育委員会

1

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P4 1-(1)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・「あどばいすタイム」の取組の充実を図ってほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

- ・講義内容や相談タイムの充実と、オンデマンド配信

特別支援教育
あどばいすタイム オンライン・オンタイムでつなぐ
まなびのサポートタイム

オンライン・オンタイムの特別支援教育の種別発信です。
毎日、好評いただいています。7月～8月頃、いつもより
時間が長くなっていきます。いっしょに、「まなび」を楽しみましょう。

毎月1回～2回

知りたいことへのアクセスの近道を、めざします。
講師先生と直接対話のまなびタイム(Zoomアプリ)は、
同時双方向です。チャットも使用して、相談できます。

令和4年8月10日(水) 4:00～4:50
テーマ「心のケアアフォー」
講師 アンバサダー養成講座
講師 社会福祉人 カリヨン マチル
主任 事務長 松平 義孝 氏
特別支援学級の活動、そのノウハウを伝えます。
「心のケアアフォー」は、企業様も参加いただけます。
お問い合わせ、疑問は、お問い合わせください。

Zoom ID: 618 072 2400
パスワード: 908 10

9月の予定
「不登校について考える」
※予定は、変更される場合があります。
※Zoomアプリのインストールが必要です。

特別支援教育に関するメール目標も発信中！
https://www.ednet.tokushima.ac.jp/

まなびの広場へのアクセス
特別支援まなびの広場
http://zoom.tokushima.ac.jp/join/join?id=

徳島県立特別支援センター
徳島支庁 徳島県
Tel: 0870-92-2000



特別支援教育あどばいすタイム

全ての動画 ▶ 新着順 ▶ 10件 ▶

0920 白立活動Ⅱ
Web配信
▶ 31 ▶

0914 不登校児童生徒の支援を考える
Web配信
▶ 44 ▶

オンデマンド
配信を開始!!

2

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P4 1-(1)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・e-ラーニング問題の内容充実を図ってほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

鳴門教育大学 発達臨床センターとの連携

各専門分野の問題作成 (例)

- ・障がい種別の具体的な支援方法について
- ・医療的ケアや服薬について

約100問を総合教育センターHPに、
新規掲載(10月・1月)

10領域99項目1185問!!

自閉症教育に関する技能

問3 (選択問題)

集団活動を嫌がる自閉症児に、どのような対応をしますか？
望ましい対応について述べた文章を1つ選んでください。

- 1. 勝手なことばかりして指示に従わないので、「好きなもの」をとりあげたり、休み時間を無くしたりする。
- 2. 我慢させることも大切なので、最後まで無理矢理にやらせる。
- 3. 本人がやりたくないことはさせない。様子を見守り寄り添う。
- 4. 具体的に視覚的支援を用いて始まりと終わりを明確に提示し、少し頑張ればできそうな活動からスモールステップで取り組む。活動ができたときは、本人が喜ぶ方法で称賛する。



判定

3

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P4 1-(1)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・まなびの広場が整理されておらず、分かりにくい。
- ・メルマガ等のSNSで配信してはどうか？

委員提言を受けた具体的取組状況

・「特別支援まなびの広場」のサイト内の整理とSNS発信

| | |
|--|--|
|  教職員のまなび | <ul style="list-style-type: none">・ あどばいすタイム・ 特別支援教育に関するFAQ・ 特別支援教育に関するe-ラーニング・ 適級による指導ハンドブック |
|  子どものまなび | <ul style="list-style-type: none">・ 学習教材e-ラーニング・ 算数の学習教材 |
|  ボディファ行動支援 | <ul style="list-style-type: none">・ パンフレット・リーフレット・ 研修用動画・ 研修資料・教材例・ Q&A・ 実践事例 |
|  学校コンサルテーション | <ul style="list-style-type: none">・ 小・中学校・ 特別支援学校・ 給食等の指導・ 不登校支援 |

項目・目次の整理



2023年2月1日現在
49投稿



TOKUBETSUSHIEN_TOKUSHIMA

各種情報を発信!

- ・研修内容
- ・報告会の案内
- ・イベント情報

4

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P5 1-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・モデル校での取組をどのように共有し、地域の小・中学校に定着させていくか。

委員提言を受けた具体的取組状況

令和4年度特別支援教育実践研究報告会

- ・県下小中学校各1名以上の参加を依頼
- ・第1部 令和5年1月12日オンライン開催
参加申込数 県内289人 県外163人
- ・モデル校3校の発表

特別支援学級での取組 2校
ポジティブな行動支援 1校

- ・オンデマンドで配信予定

令和5年度

「特別支援教育アドバンスセミナー」
を実施予定(最新の研究知見を発信)



1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P4 1-(1)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・特別支援学級ハンドブックの作成

委員提言を受けた具体的取組状況

- ・特別支援学級を担任する
小学校・中学校教職員を対象に作成
(資料2)

- 1) 特別支援教育についての概要
- 2) 児童生徒理解と支援について
- 3) 特別支援学級における学習活動
- 4) 取組の具体事例
- 5) 評価のポイント
- 6) 連携のポイント
- 7) 関係する法令 等

各小・中学校, 及び, 市町村教育委員会に,
3月に配付予定



1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上：報告書P5 1-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・特別支援学級担任に求められる専門性の評価方法を検討すること。

委員提言を受けた具体的取組状況

- ・特別支援学級担任教員に求められる専門性チェックシート(資料3)

「とくしま教員育成指標」<改訂版>と関連

- ・ 児童生徒の実態や保護者の思いから学ぶ態度
- ・ 基礎的・基本的な知識
- ・ 学習指導や支援の技能
- ・ 連携や理解推進への取組
- ・ 特別支援教育に関する情報を収集する力

等

| | | |
|-------|-----------|--|
| 実態把握 | 児童生徒 | 児童生徒の障がいの状態、発達や生活経験の程度、興味・関心、生活や学習環境などの実態を的確に把握している。 |
| | 児童生徒保護者 | 児童生徒本人と、保護者の希望や教育的ニーズを把握している。 |
| | 個別的教育支援計画 | これまで作成された個別的教育支援計画をもとに、関係機関や保護者と連携して、今後の支援や指導の計画を立てることができる。 児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえて、学校における合理的配慮の提供について保護者と合意形成を図り、計画することができる。 |
| 指導の計画 | 個別の指導計画 | 児童生徒の実態から、具体的な目標や手立てを設定し、個に応じた児童・支援の実践に生かすことができる。 実践をふり返って評価を行い、指導や支援についての計画の見直しをすることができる。 |
| | 年間指導計画 | 年間指導計画を作成したり、学級経営の目標(学級経営方針)を設定したりすることができる。 |

2 校内支援体制の充実・連携強化：報告書P6 2-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・「ポジティブな行動支援」をさらに浸透するための方策を検討してほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

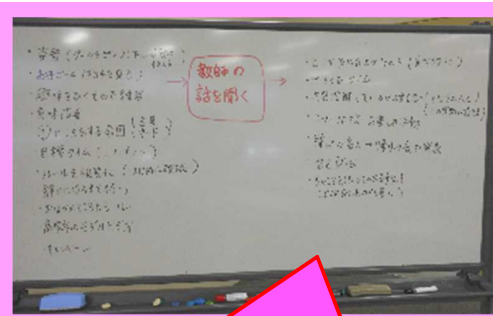
アドバイザーとの連携により
「PBS実行度尺度」を実施予定

「ポジティブな行動支援」充実の要となる
「特別支援教育巡回相談員」研修の充実

実践事例集Ⅲ刊行予定(3月)

- ・ 中学校での実践紹介
- ・ 実践校の管理職からのメッセージ!

PBSの深化・浸透を拡充するための
オンデマンド教材の公開



実践に、即活かせる演習形式の研修

ポジティブな行動支援
ポジティブな行動支援
研修用動画

※「特別支援
まなびの広場」に
動画15本を公開中



2 校内支援体制の充実・連携強化：報告書P7 2-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・「ポジティブな行動支援」における管理職の意識の高め方は？
- ・校内支援委員会「プチ」の取組を県内の学校に広げてほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

○管理職を対象とした研修で周知

- ・学校リーダー研修
- ・4月25日～6月30日【悉皆研修】
(オンライン視聴)
- ・6月28日【選択研修】

※令和5年度

新任教頭等を対象に研修予定

○校内支援委員会「プチ」のロールプレイ

- ・特別支援教育コーディネーター研修会
- ・令和4年12月8, 16日
- ・参加者：90名
- ・講師：特別支援教育巡回相談員



ポジティブな行動支援
の実践例



校内支援委員会「プチ」の様子 9

2 校内支援体制の充実・連携強化：報告書P6 2-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・手厚い支援が必要な子どもに対する支援方法について教えてほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

○研修動画7本を作成予定

- 「個別に配慮・支援が必要な子どもへの支援を充実させるために」
- ・問題行動の機能を把握した上での目標設定
 - ・支援のための手がかりやヒントの種類や使い方
 - ・トークンエコノミーシステムの概要 等

○特別支援学級コンサルテーション を実施

- ・専門家の指導・助言を受けながら実施
- ・指導目標を具体化し、客観的な記録で評価
- ・支援チーム全体で記録をもとに指導方法を改善



学校コンサルテーションの様子 10

2 校内支援体制の充実・連携強化：報告書P7 2-(2)

第1回推進委員会における委員からの提案等

・「特別支援教育推進月間」の実施(6月, 11月)

委員提言を受けた具体的取組状況

小・中学校の教職員のみならず
「特別支援教育推進月間」が
始まります！

期間 11月1日(火)～11月30日(水)

実施内容

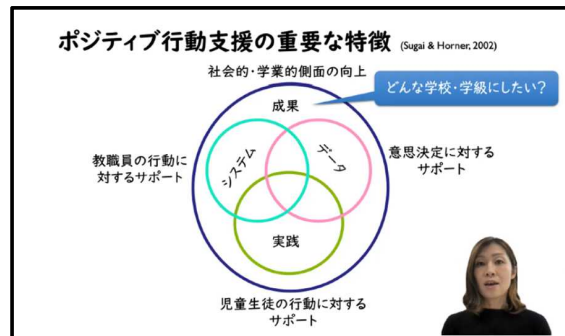
- ◆『特別支援教育に関するeラーニング研修』
期間内に10領域35項目から、学びを深めたい2～3項目を選択し、受講してください。
- ◆『ポジティブな行動支援研修用動画』
期間内にポジティブな行動支援研修用動画15本から各園・校の取り組み状況に合わせて1本を選択し、受講してください。

（熊鷹県立総合教育センターホームページ内「特別支援まなびの広場」へアクセス）

熊鷹県教育委員会 特別支援教育課 学校教育部 特別支援まなびの広場
TEL: 085-621-3140
yakubet@tsukubet.pref.yokohama.jp

・11月のeラーニングアクセス件数
8663件

・11月の
「ポジティブな行動支援研修動画」
視聴回数 2401回



ポジティブな行動支援研修動画

3 関係機関等との連携の充実：報告書P8 3-(1)

第1回推進委員会における委員からの提案等

・パンフレット「特別支援教育に関する関係機関との連携ってどうすればいい？」について、事例で具体的に示してほしい。

・「親の会」も相談機関の中に入れてほしい。

委員提言を受けた具体的取組状況

・教員からの意見や使用感も集約し、改善！（資料4）



「その他の関係機関」として
「当事者団体」を記載

・令和5年度に小中学校へ配付・活用！

事例内容の整理・追加

<関係機関との連携による解決事例>

事例1
学校での指導や支援の仕方を教えてほしいがどこに相談すればいいのだろうか。
解決
総合教育センターの相談支援を受けることで、支援の仕方を具体的に教えていただき、継続して相談することで、学校での指導や支援に活かすことができました。

事例2
一人では対応が難しい。
解決
総合教育センター特別支援・相談課
このところのサポートセンター
電話 855-570-5228

事例3
福祉事務所及び市町村（母子保健・障がい福祉担当）では、日本語は、障がい福祉サービス、福祉制度等についていろいろな相談に応じられています。
解決
親や祖父母から継続的に関わってくれている家庭相談員や保健師、地域のソーシャルワーカーと連携することで、放課後や家庭での生活を支援していただくことができました。

事例4
こんなときは、どうすればいいだろうか？
解決
障がい者手帳の申請は、どうすればいいですか？
福祉サービス等については、「障がい者（児）福祉のしおり」が参考となります。

事例5
校内の特別支援教育コーディネーターに相談すると、「障がい者（児）福祉のしおり」に相談窓口や手帳の交付について掲載されていることを教えてくれ、保護者に伝えることができました。

4 その他

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・本委員会の取組をマトリックス図にして、可視化すること。

委員からの御意見等を受けた取組と現在の状況

・各種取組を整理(資料5)

- 縦軸→①「特別支援学級に関わる
教員の専門性の向上」
②「校内支援体制の充実・
連携強化」
③「関係機関等との連携の
充実」

- 横軸→①「県の取組」
②「学校の取組」
③「個人の取組」



※学校・教職員へ周知し、
組織的に特別支援教育を推進！

| | 県の取組 | 学校の取組 | 個人の取組 |
|-------------------------|------|-------|-------|
| 特別支援学級に関わる 教員の専門性の向上 | | | |
| 校内支援体制の 充実・連携強化 | | | |
| 関係機関等との 連携の充実 | | | |

15

4 その他

第1回推進委員会における委員からの提案等

- ・講演会「場面緘黙の子どもへの理解と援助」の開催

委員からの御意見等を受けた取組と現在の状況

令和4年度特別支援教育「地域まるごと専門性向上」事業
鳴門教育大学発達臨床センター講座

場面緘黙の子どもへの 理解と援助

家では話すが学校では話さず、通学が苦痛で泣き止まない子どもがいます。講義
経験は経験されやすく、適切な理解と支援が求められる場面です。お話を聞いていただき
こともありますが、早期発見・早期支援が重要です。
場面緘黙の子どものための理解を深め、その支援の場面に役立てていただきたいと思います。

講師/奥田 健次氏 特別支援学級担任指導員
日本行動分析学会理事
日本子ども発達科学会理事
日本発達障害研究学会理事

場面緘黙の子供は、発達障害のある子どもに分類される。行動上のあらゆる問題も解決に
導くことで、適切な理解と支援が求められる場面です。お話を聞いていただき、お話を聞いて
また、2018年には、日本行動分析学会の特別支援学級「サマエム」を開設し、
2020年には、インクルーシブな学校（注）を開設し、場面緘黙の子供を
支援しています。

対象 小学生から中学生までの子どもに当てはまる。小学生に1つの科目での授業参加、
中学生と学校の先生との学校コンサルテーション、
ESUの活用、行動分析学、発達障害、場面緘黙、その他

日時 2023年2月11日(土)
14:00~16:00(受付13:30~)

会場 鳴門教育大学 講堂
(鳴門市鳴門町高島宇中島748番地)

参加費 聴講無料(講師の謝儀は別途お支払いください)

申込方法 メール、ファクシミリ又は申込フォーム(裏面にダウンロード)

申込先 徳島県教育委員会特別支援教育部
電話: (088) 621-9142
ファクシミリ: (088) 621-3058
メール: tokubetsushienkyoukai@pref.tokushima.jp

主催: 徳島県教育委員会 共催: 鳴門教育大学

鳴門教育大学との共催による取組

- ・「場面緘黙」についての理解推進
- ・「場面緘黙」の子どもへの支援や配慮

開催日時: 令和5年2月11日(土)
14:00~16:00

会場: 鳴門教育大学 講堂

「講演会」への参加を御希望の場合

「講演会チラシ」の裏面を確認の上、
「メール」又は「ファクシミリ」で
お申し込みください。

16